

未来農林事業開発研究会2025年度年次大会開催案内 (産学官連携による農・食・健康に関するシンポジウム)

近年、農と食・健康に関するリスクが増大しています。例えば、「①グローバル化による農・食への影響、②農薬や有害物による食品汚染、③高齢化による農業従事者不足、④都会と農村の格差増大、⑤異常気象による農業への影響、⑥食糧安全保障など」です。そのマネジメントとして、ICT・IOT・自動化(ロボット、ドローン)を駆使した「スマート農業(近代的農業)、食の安全・安心」が注目されています。そこで、産学官の関係者から農業・食・健康に関する最新の情報を発表して頂き、日本の農業発展、強いては「農と食」を通して「世界平和の構築」に貢献できることを期待しています。

1. 日程:2025年1月25日(土) 13:15~17:30 (13:00から受付開始)
2. 開催方法:ハイブリット形式……J-SCORE 事務所と Zoom 会議
※J-SCORE 事務所:東京都中央区八重洲 1-7-20 八重洲口会館地下 2 階
3. 主催:(一社)日本シニア起業支援機構(J-SCORE) 未来農林事業開発研究会
4. セミナー内容(スケジュール、テーマ、講演者氏名)
【総合司会】森山浩光 J-SCORE 理事 (未来農林事業開発研究会 副会長)
【開会挨拶と J-SCORE の紹介】松井武久 J-SCORE 代表理事)……………13:15~13:30
【講演】各テーマ (25分講演+5分質疑)
◆講演1:「農林水産・食品分野のオープンイノベーション促進について」……………13:30~13:55
講師 佐々木寛氏 (農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室 研究専門官)
◆講演2:「農研機構の紹介」……………13:55~14:20
講師 田中康治氏 (農研機構 統括執行役 兼 広報部長)
◆講演3:「国際農林水産業研究センターの紹介」……………14:20~14:45
講師 杉野智英氏 (国際農林水産業研究センター企画連携部 部長)
……………休憩&名刺交換……………14:45~14:55
◆講演4:「JATAFF活動(技術資料、研究資金・助成金・補助金とう)の紹介」……………14:55~15:20
講師:安東郁男氏 (公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会(JATAFF) 専務理事)
◆講演5:「気候変動、紛争等による農業の危機~この課題に対する JICA の取り組み~」……………15:20~15:45
講師:日原一智氏 (独立行政法人国際協力機構(JICA) 経済開発部
技術士(農業部門、総合技術監理部門)
◆講演6:「一般社団法人日本有機資源協会(JORA)の活動紹介」……………15:45~16:10
講師:柚山義人氏 (一般社団法人日本有機資源協会(JORA) 専務理事)
◆講演7:「有機農業発展のためのロボットやスマート農業を活用した農業参入事例」……………16:10~16:35
講師:豊吉隆一郎氏 (株式会社トクイテン 代表取締役)
◆質疑応答……………16:35~17:30
5. 懇談会:……………18:00~19:30
◆希望者による会食懇談会……会場未定(参加者の状況で決定)
6. 参加費
◆会場参加者(テキスト印刷代+事務経費) 会員:1,000円、事業協力提携先:1500円、その他(一般):2000円
◆Zoom参加者…参加費… 会員:無料、事業協力先とその他(一般):1000円(テキスト代は別)
テキスト費…会員(HPからダウンロード) その他:2000円(事前に振込先に振り込む)
※参加申込みと併せて指定の銀行口座へ振り込みを済ませた人に講演会の終了後、PFDデータで送信します。
※振込先銀行はホームページをご覧ください。
◆会食懇談会(3000円)…当日受付で支払う。
7. 申込方法
参加希望者は、原則として(一社)日本シニア起業支援機構のホームページから申し込み下さい。
※ホームページが使用できない人は、メールにて下記の事項を記述しシンポジウム事務局へ送付下さい。
●氏名、●所属、●連絡先(Mailアドレス、電話番号)、●交流方法:会場か Zoom か、●懇談会:参加・不参加
【シンポジウム事務局】 Mailアドレス<office@j-score.or.jp>